

在宅医療・介護連携支援事業

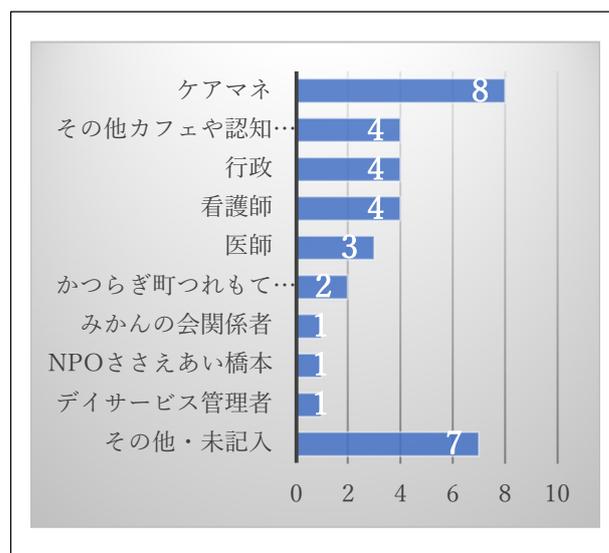
2020年度 「認知症セミナー」 アンケート 2020.10.24（土）開催

参加70名（参加者44名+スタッフ26名）

アンケート提出 35枚

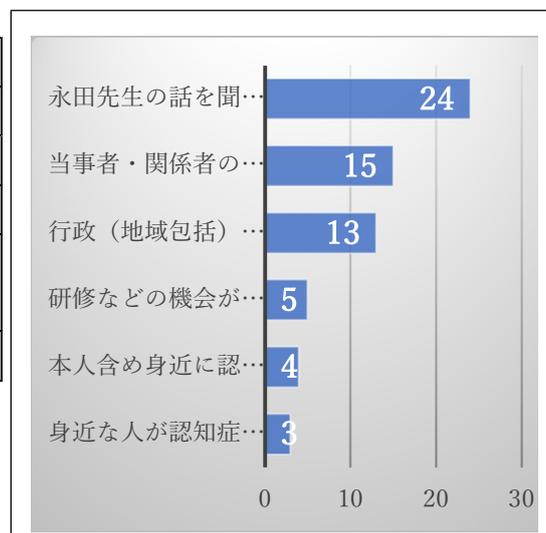
①当てはまる所属・職種等に○をつけてください

ケアマネ	8
その他カフェや認知症事業関係者	4
行政	4
看護師	4
医師	3
かつらぎ町つれもてカフェ関係者	2
みかんの会関係者	1
NPO ささえあい橋本	1
デイサービス管理者	1
その他・未記入	7



②当セミナーに参加したきっかけは？当てはまるものすべてに○をつけてください

永田先生の話聞いたかった	24
当事者・関係者の話を聞いたかった	15
行政（地域包括）の勧め	13
研修などの機会がないため	5
本人含め身近に認知症診断を受けた人がいるので今回の話を聞いたかった	4
身近な人が認知症の症状で困っている	3

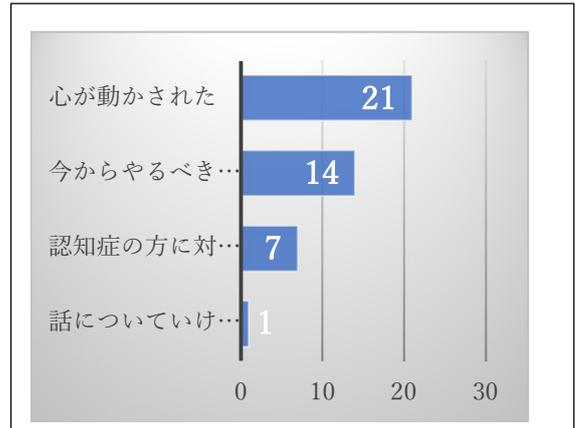


③事前に質問を記載しましたか

はい	0
いいえ	24
未記入	11

④セミナーで感じたことをお書きください。当てはまるものすべてに○をつけてください。

心が動かされた	21
今からやるべきことが分かった	14
認知症の方に対する対応を変えたい	7
話についていけなかった	1



### 心が動かされた 最も印象に残った言葉

- ・地域全体での対応
- ・認知症にならないようにと考えるのではなく、認知症になっても楽しく希望をもって生きていきたい。
- ・前向きでユーモアのある当事者の言葉：認知症にならんとこより、認知症になっても楽しく1日1日過ごしていこう。希望をもって生きる。つながりあって生きる。情報発信（当事者）しないといけない。
- ・認知症の診断を受けても前向きに、自分ができることを、できることからやる。
- ・「自分たちの一歩先を行っている人生の先輩だ。」と今までそういう視点が持てなかったので、とても心に残りました。
- ・認知症になる前から目を背けない。認知症の人は一歩先に行く人。認知症になっても何が大事なのか、何が希望なのかを考える。
- ・認知症の人は自分の一歩先に行く人
- ・認知症であってもやれることがある。
- ・自分や本人が楽しく。地域とつながる。
- ・認知症になっても、その人はその人で、その人らしさで生きていく。
- ・認知症になっても生きていける。
- ・認知症になっても希望をもって生きる！
- ・それぞれが自分の生活を大切にしよう。情報を発信する。
- ・ごまかしなしに笑いのある生活を。
- ・元気な時から備えをする。そして、無理をせず息長く。
- ・元気な時から「備え」ながら息長く。自分の希望をメモしておこう。
- ・認知症のイメージを変えていく
- ・家族といえども一人一人自立した生活をするのが大事。
- ・「認知症だから」という言葉であきらめない。
- ・「金なし、家なし、亭主なし」底なしに明るいところ
- ・永田先生が、「家族が自立していること・・・」について話されていたのが、新たな視点で話を伺えたと思う。

## 今からやるべきことが分かった

### 実行しようとしていることに何か障害がありますか

- ・自分の考え方がない。
- ・「ここで生活できて、ここで生きていて良かった。」と認知症の方も介護する方々もそう思える地域であるよう私も力が出せたらと思いました。
- ・担当している方で奥様が認知症。ご主人様に奥様は「忘れてしまう」と何度も会伝えするが、生活の中ではどうしても今まで通り会話するので夫婦喧嘩が起こったりします。話を聞いて、なだめて、ほめて、感謝してとその都度声掛けしますが、現実、当事者お二人の生活はまだなかなか笑顔が生まれません。ケアマネに何ができるのか・・・考え込んでいます。
- ・ケアマネとして、今後、地域の人たちとの関わり大事にしていきます。
- ・地域とのつながりの場・機会を知る機会が少ない。
- ・ケアマネとしての日常業務の中で、漠然と気になることがあってもなかなか発信しきれないところがあります。忙しくても行動しないといけないと思いました。
- ・当事者と共に生きる。セミナーに参加
- ・コロナで人と人とのつながりが制約される今、どのようにつながりを作っていくか考えてみます。
- ・体験談を聞き、前向きに生活をしていきたいです。人との出会いを作りたい。
- ・今後私のしたい希望を整理して記し娘に渡したい。
- ・移動への支え合いが少ない。
- ・地域にどれだけ理解があるか少し不安。進むことが大切。

### 行政等が協力できることがありますか

- ・認知症をもっとオープンにできる場を作って、本人、家族、地域住民が皆で認識できるようになってほしいです。
- ・自分自身が今日感じたこのような思いを思い出せる機会をこれからも作ってください。
- ・もっとサロンやカフェの活動を、セミナーなどを活用して住民、協力団体にもアピールして行ってほしい。先生がおっしゃった「つながり」「周りを増やす」機会を作ってほしい。
- ・行政関係職が連携をとり、より良い地域づくりができるように。
- ・当事者やその家族の支援はもちろんのことであるが、地域の皆さんが認知症や老いを前向きに受け止めていける環境づくりへの取り組みを進める。
- ・相談しやすい体制づくり
- ・自分が認知症だと伝えている集い（サロンや地域の活動グループ）に定期的に参加し見守っていただけたらと思う。
- ・サークル・団体の紹介、イベント・行事の紹介。事業所と団体・地域とつな

げてほしい。

- ・コロナ感染予防が大変だと思いますが、地域の方が参加できる集いを計画してください。
- ・認知症の方の居場所づくり（介護サービスだけでなく認知症でも働ける場所等）
- ・気になることができた時に相談させていただきたいです。
- ・集まり、特に私は健康体操グループを作っているので支援してほしい。
- ・つながって生活できるように移動・場等の援助

⑤全体を通しての満足度は？ 当てはまるもの1つに○をつけてください

期待したほどではなかった	0
満足	17 (49%)
とても満足した。同様のセミナーがあればもう一度参加したい	18 (51%)

⑥自由記載

- ・永田先生のお話では、地域の「つながり、理解、支えあい」が重要であることを学びました。誰でも「ちょっと一緒に」関わられる町になればいいなと感じました。また、実際認知症であるお二人のお話も聞くことができ、地域の方々とかかわりながら生き生きと過ごしていらっしゃる姿を知ることができ、嬉しく感じました。本日はとても良い機会を与えていただき、ありがとうございました。
- ・認知症になった人だけではなく、1日1日楽しくしっかり生きることが本当に大切だと思います。認知症と診断された方々の声を聴かせてもらい学びにつながりました。
- ・有意義な時間でした。当事者の言葉の重みを改めて感じました。ありがとうございました。
- ・みかんの会の活動をパネルで見させて頂いたり、当日掲示や受付、準備や片付けなどされているのを見て、また、体験談を聞いて胸が熱くなった。今後も協働できることがあれば実施していきたい。もっと多くの方に、特に医療・介護関係者、行政の方に当事者の話を聞いてほしい。話を聞いてどう動くか、どう動いたか反応が知りたい。
- ・研修会開催については、ずいぶん心配をしながらの開催となりました。今後ウィズコロナという考え方も視野に入れながら開催していけたらと思います。
- ・みかんの会パネラーさんが勉強された本の名前を知りたかったです。
- ・当事者のあつい思いに感動しました。永田先生は以前から尊敬していましたが、やっぱりすごい人です。
- ・地域で支援する。
- ・認知症に対する支援を更に力強くお願いします。今日のセミナーはとても良かつ

たです。

- ・自身も「行く道で」勉強中です。ありがとうございました。
- ・認知症の家族への支援が大切なのではと思います。地域の中で家族も安心できることがとても大切ですね。苦しいのは本人と同じなのではと思います。家族が適切にかかわることが在宅の生活のカギになっています。認知症カフェができたらいいですね。
- ・いろんな方の力を借り余力を残しながら過ごす。とても大切なことだと思いました。家族様の余力を残せるような対応をしていけるよう頑張りたいと思います。
- ・東京からの永田先生のお話、具体的でわかりやすかった。お二人の体験発表も参考になった。マイクの関係で聞きにくいところは残念でした。新しい形での会の持ち方もびっくりしました。
- ・自分は早いか遅いかによって違いますが、いろいろの話を聞いておくで参考になることが多かったと思います。
- ・認知症だけの問題ではなく、地域社会とのつながりの重要性が大切と、とても勉強になった。
- ・自分として包み隠さず前向きに生きていくようにします。私は目標を立てて生活をしていきたいと思います。
- ・掲示コーナーでは、持参した掲示物が少なく、近隣地域の方に装飾をいただく等協力いただきました。次回、こんな機会があれば工夫したい。
- ・永田先生とのリモートでの話は分かりやすく、こちらとの会話もスムーズにできてよかった。当事者の思いを聞かせてもらう機会がもっと増えるといいと思いました。永田先生の話・コメントを聞いたことで、パネラーの娘さんが、「今日は私が救われました。」と言われていたのが印象的だった。
- ・次は永田先生に直接お会いして話を聞かせていただきたい。
- ・当事者の話と永田先生の話の時間割振りも丁度良かった。
- ・当事者が日々の生活の中で、どんな思いを持っておられるのか、なかなか聞く機会が少ないので、今回の研修はすごく貴重であると思いました。
- ・自分が今後当事者や家族と接していく上で、どう接していくことがいいのか考える機会となりました。
- ・今回はコロナの影響で、広く住民に周知していくことはできませんでしたが、今後も当事者や家族の声などを発信していく機会があれば、各関係機関が互いに考えていける機会があればいいなと思いました。
- ・パネラーにナビゲーションがいて、テーマや写真が表示され、わかりやすく、上手に発表されていたので感動した。